



成果発表会に向けて 企画づくり 強化合宿～ブラッシュアップ

【第6回】企画づくり強化合宿&中間発表
 日時：2019年10月19日（土）9時～20日（日）12時
 会場：森の家みんな
 参加：受講生 27名、サポメン 5名、OBOG 2名
 那覇人Cheers 7名



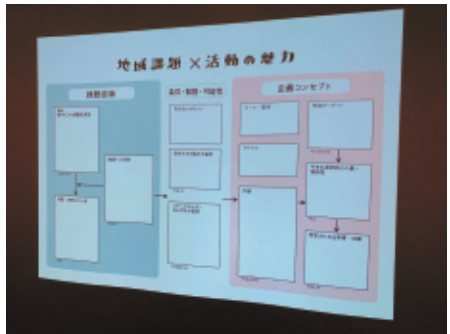
第6回講座は「企画づくり強化合宿」でした。森の家みんなに宿泊し、企画づくりについて集中的にグループで話し合います。これまでの取り組んできた地域の現状把握・課題設定に基づき、企画をつくっていきます。より魅力ある企画にするために視点を変えたり、意見を交わしたりして考えを深めていきました。

いよいよ合宿スタート！
 合宿は9時集合でしたが、よほど楽しみだったのでしょいか。早く着き過ぎて末吉公園を散歩してきました。皆さんのやる気がうかがえます。



チェックイン・説明
 午前中は、急遽宿泊予定の部屋で行うことになったのですが、皆さん協力してテーブルの移動などを行いました。ありがとうございます！
 講座の説明、宮里副参事からの開催の挨拶もいただきました。
 それでは早速、企画づくり「強化合宿」が始まります！

ロジックモデル、仮説検証
 ①ロジックモデル説明（じゃばら手帳とワークシート）



企画を立てる前に、何のためにやるのか？を整理することが大切です。今回は、写真のようなワークシートを使って、まず課題認識の整理を行いました。

「現状：誰のどんな課題&原因」
「理想：実現したい姿」「原因への対策」をそれぞれ埋めていくという中で、あらためて地域課題を確認します。

課題がはっきりしているという前提でスタートしていますが、みなさん大丈夫でしょうか。。

少し手が止まったり、書いてる内容がそれぞれ違うチームもあったようですが...👁️👁️

ひとまずグループ内でも認識を合わせる機会にもなったようです。



課題認識の整理を行った後は、「外せないポイント」「自分たちの強みや資源」「ステークホルダーおよびその資源」を洗い出し、企画提案に向けた準備を進めます。

②各チーム課題検証、ざっくり企画立て



ここまで整理できたら、続いてアイデア出しのワークです！

まずは、先ほどまで整理した課題やテーマに関するキーワードを緑の円の中に付箋で書き出していきます。

「防災」「つながり」「独居老人」など、様々なキーワードが浮かんできます。

続いて、楽しいことを考えるワーク。企画の対象者や自分たちの好きなこと・得意なこと・楽しめることなどを、オレンジの円の中に書き出していきました！



さて、この2つの円が埋まれば、最後は企画アイデアを出す大喜利のようなワークです。

緑の円とオレンジの円を組み合わせると意外な、面白い、笑えるアイデアやネーミングを出していきます。

こうすることで、課題を解決しつつ、ちゃっかり楽しめるアイデアのタネが生まれてきます。

グループをのぞいてみると、「☆翔☆ママチャリサイクリングツアー!」「地獄坂流しソーメン」「基地でキャンプ」「地域対抗奇声合戦」「おばけツアー」「避難時ファッションショー」など、名前だけで気になる企画のアイデアがたくさん！

突拍子のないアイデアの数々に、お話しが盛り上がりました。

お昼ご飯 (持参)



テーブルも、元々の研修会場に再移動し(皆様ご協力ありがとうございます)お昼ごはん。

持ち寄ったお弁当などを食べて体力回復の時間です。

みんなワークショップ

午後の最初のプログラムは森の家みんな「森の指令ゲーム」です◎

末吉公園を散策しながらリフレッシュしつつ、視点を変える面白さを実感できるゲームです。

こちらをリードしてくださるのは、森の家みんなの藤井さん。



森の指令ゲーム (2h)

さて! 「森の指令ゲーム」とは、

・教えてもらった特徴と写真を頼りに
・末吉公園内にある生き物や植物などを探し出す
というものです。

シンプルですが、これが意外と難しいのです!



ルールは以下の4つ。

- ①コースの中で探す。
- ②取らない。隠さない。
- ③グループ全員で見る。
- ④決めた時間までに戻ってくる。

スケスケの葉っぱや渦巻き蜘蛛の巣、カラフルな実、鮮やかな緑色のタニシなどを見つける事は出来るのでしょうか。

小雨も降る中でしたが、4チームに分かれ、いざ探索!



早速なにかを見つけたグループ

末吉の森の奥へ奥へと進んでいきます。運動場1周分くらいのコースですが、じっくり観察しながら歩くと、1時間で一周できるかどうかくらいです。



お！触覚の先が白いバツタを見つけたようですね！

・振り返り

結果、課題の写真にある生き物や植物を全て見つけたチームは2チームでした🍌🌟

同じ場所、同じものを探しているはずなのに、結果は同じにはなりません。これこそが、今回「森の司令ゲーム」を合宿で行った理由です。

講師の藤井さんからは、

「一度気づくと、たくさん見つかる、見つけれないものは存在していないわけではなく、見えてないだけだったりする」との言葉。

これは自然探検だけではなく、私たちの身の回りや地域にも言える事だと思います。

企画ブラッシュアップ

自分たちのアイデアを批判的に見てみたり、気づいていない良いところを探すのって、意外と難しいのです。そのために用意したのがこのワーク！

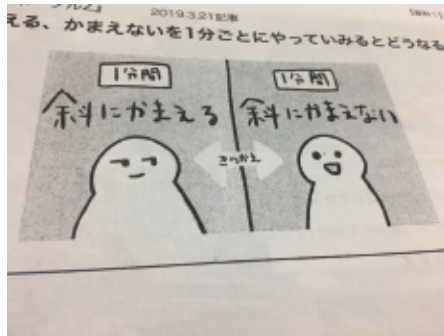
・斜にかまえる、かまえないのワーク

あるもの・ことについて、1分間は「斜に構えて」批判的な感想を、次の1分間は斜に構えず、肯定的な感想を述べてみるというものです。

※デイリーモーション2019.3.21記事

「斜にかまえる、かまえないを1分ごとに切り替えるとどうなるか」参照

(https://dailyportalz.jp/kiji/sya_ni_kamaeru-kamaenai/)



まずは例として、コアラのマーチについて！

「このサイズかよ」「英語しかわからない人はこれが何だかわからない」など、なかなか厳しい意見が飛び交います。

次に好意的な感想を言ってみる時間...「甘いもの好きだから嬉しい」

「コアラがかわいい」など、先程とは違った意見がたくさん。

皆さん意外と切り替えも上手に出来ていました◎

次は2020年東京オリンピックについても斜にかまえたり、かまえなかったりして意見交換しました。



次は自分たちが考えた5つくらいの企画について、この方法で意見を出していきました！

この過程を通じて、一番じっくりくる企画を選び、採用する企画を絞り込んでもらいました。

ある程度議論が落ち着いてきたら、ひとつひとつのグループと、中間チェックインを行いました。



カレー対決！！

前半のワークが終了したら、合宿いちばんのお楽しみ？カレー対決です。



OB田中さんの飛び入りカレー参戦や真和志チームはまさかの1チームで2種類のカレー作り！

地域混合チームも含め、みなさんチームワークを活かして楽しい雰囲気料理されています。

カレーには、各地域の特産物などを材料として使用してもらいました！

各チームの食材へのこだわりもすごい！完成が楽しみです！



なんということでしょう。どのカレーも美味しく、一番が選ばない...

レベルが高過ぎて事務局も想定外だったこのカレー大会。

どのチームも個性があり、こだわりがあり、愛が溢れていました。感激です。

悩みながらも自分が一番だと思うカレーを選び投票しました。

合宿2日目スタート！

前日遅くまで企画づくりを行なっていたため、寝不足で朝を迎えた方もいましたが、みんなで円になりラジオ体操で2日目のスタートです！

朝ごはんは、若狭公民館「朝食会」でもお馴染みのお粥！昨日の余ったご飯も残さず食べました。

清掃し、部屋をチェックアウトの後、いよいよカレー対決の結果発表です！

対決のご褒美は...中間発表の発表順決めです！！

1位のチームから順に、発表したい順番を選んでいただきました。

中間発表会 開始

中間発表いよいよスタート！

発表形式は自由、持ち時間は7分間です。

那覇人チアーズ（なは市民協働大学院応援団）を含む聞き手のみなさんには、発表が終わる毎に、企画や課題の内容に対して、斜にかまえる、かまえないの両方の視点でコメントして頂きます。

チームWANGAN！

那覇西地域を対象に取り組んでいるチームWANGANは、率先して一番目の発表を選んでいただきました。



【那覇西】チームWANGAN

天妃小学校区を対象に、在住外国人（留学生）と地域住民との交流をはかる企画です。

ごきげんヒュータンズ

続いて、なんだか気になるチーム名がついている中心市街地チーム。



【中心市街地】ごきげんヒュータンズ 壺屋小学校区を対象に、地域間、世代間のコミュニケーション不足解消に取り組む企画です。

チーム小禄

そしてチーム二人でひたすら頑張り、OBの田中さんと嘉数さんも強力サポートしていた小禄チーム。



【小禄】チーム小禄

金城小学校区の子どもたちを対象に、公園を活用した楽しい企画を通じて様々な人がつながるきっかけづくりを提案していました。

チームあかばな一

続いて、カレー対決ではほとんどの材料を地域で集めてくれ、素晴らしいチームワークを見せてくれた真和志チーム。



【真和志】チームあかばな一

公民館や児童館がなく、みんなが集まれる場がない上間小学校区で、公

園を拠点に地域の人が交流できる企画を考えています。

わくわく新都心

中間チェックインを受け、夜中も議論し続けた新都心チーム。



【新都心】わくわく新都心

天久小学校区にある那覇新都心公園にて、防災イベントに参加しない層を対象に関心を持ってもらう仕掛けを提案しました。

近所でWAKUWAKU首里チーム

こちらも夜中まで活発に議論が続いていました。



【首里】近所でWAKUWAKU

高齢化が進み、独居高齢者が多い城北小学校区で、ポイントシステムを導入した平常時から近所を育む仕組みを考えています。

コメントと振り返り

各チームの企画に対しての感想を共有した後、チームごとで振り返りました。そして、チアーズから具体的なアドバイスをいただきました。

楽しく充実した（でもちょっと厳しい）合宿を終了して、いよいよ大詰めです。次回は、各ステークホルダーにも参加していただいていた企画ブラッシュアップ。最終的にどんな企画ができるか楽しみです！